

# 畑と 暮らす ためのこと

― 柑橘農家の場合 ―

移住者新規就農支援



2021年 3月 作成

お問い合わせ：宇和島市産業経済部農林課

Tel: 0895-24-1111 (代表) Mail: norin@city.uwajima.lg.jp



宇和島市は愛媛県の西南部に位置し、北は西予市に、東は鬼北町・松野町、南は愛南町・高知県宿毛市・同県四万十市に接している。西は宇和海に面し、入り江と半島が複雑に交錯した典型的なりアス式海岸が続き、4つの有人島と多くの無人島がある。

温暖な気候と傾斜地の多い地形、内陸部の盆地など、独特の自然条件を生かした農業のまちとして、また西部一帯に広がる恵み豊かな宇和海を活かした水産業のまちとして発展してきました。



## 宇和島城

天守が当時のまま現存し、国の重要文化財に指定されている宇和島城。1601年に徳川家康、豊臣秀吉、2人の天下人に仕えた藤堂高虎によって建造されたとされ、その後仙台藩主伊達政宗の長男、伊達秀宗が宇和郡10万石を賜り入城したという歴史があります。当時のままの石垣や城内の豊かな自然、そしてバランスの取れた天守の美しさをぜひ感じてください。



## 鯛めし

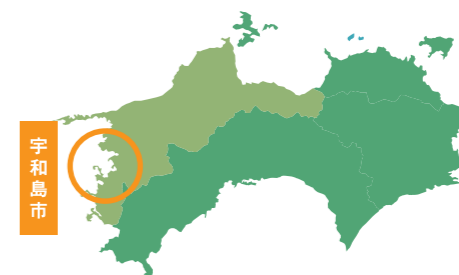
宇和島が誇る郷土料理「鯛めし」。宇和海の日振島を拠点に活動していた伊予水軍が賄い飯として船上で食べたのがはじまりといわれています。主役はもちろん鯛。ですが卵も欠かせません。トロツとしたまろやかな卵が新鮮で旨味たっぷりの鯛と濃厚なタレに絡まることで相性も良くなり、格別な味わいが生まれるのです。



生産量 **日本一**

生産量 **第3位**

※2018年時点



面積 **468.19** km<sup>2</sup>

人口 **77,465** 人

うち農業人口は**3,806**人  
(全体の約5%)(2015年時点)

## 宇和島って どんなところ？

闘牛や牛鬼まつりなど、宇和島ならではの文化も多彩。四季折々で、様々な景色を見る事ができます。

# 農産物について

農業では、全国有数の生産量を誇る柑橘類をはじめとする果樹栽培を中心に、米（三間町が有名）や野菜（遊子（ゆす）の段畑のじゃがいもが有名）の生産や、畜産などが行われ、新鮮な農産物が豊富に生産されている。柑橘類ではブラッドオレンジ（タロッコ、モロ）が生産量日本一、ポンカンが全国シェア1位となっている。



## 宇和島の みかん

**はるみ**  
清見とポンカンを交配して誕生したデコポンの妹。手で皮がむけ、内袋ごと食べられ、味はとて甘くてジューシー。

**せとが**  
清見とアンコールとマロッコを交配。今、注目の柑橘。高級贈答品に最適。ジューシーで濃厚な甘さが特徴。

**八朔**  
ほのかな苦味と独特の食感が特徴。根強い人気。

**甘夏**  
甘味と酸味がマッチした爽やかな味わいはまさに初夏のフルーツ。

**はるか**  
日向夏の枝変わり。後味のさっぱりとしたさわやかな甘さが特徴。

**ブラッドオレンジ**  
愛媛で栽培されている品種は「タロッコ」「モロ」赤い果肉と風味が特徴で、カットフルーツやジュースに最適。

**ポンカン**  
インド原産で、日本へ伝来。手で皮がむけ、内袋ごと食べられ、甘みの強さと香りが特徴。

**いよかん**  
愛媛では明治22年に松山で栽培開始。口に広がるさわやかな甘さと香りが魅力。

**デコポン（不知火）**  
清見とポンカンを交配。果実上にある凸が目印。手で皮がむけ、内袋ごと食べられる、歯ごたえのある甘い果実。

**はれひめ**  
清見とオセオラみかんを交配。手で皮がむけ、内袋ごと食べられる爽やかなオレンジ風味が特徴。

**温州みかん**  
味と食べやすさを兼ね備えた、柑橘王国愛媛の顔。夏場の温室みかんは贈答品に最適。

## 三間米

古くから良米が穫れる産地として知られる宇和島市三間町は、周囲を山に囲まれた三間盆地という地域で、周辺の地域とは比べ物にならないほど、量も品質も高い米を栽培しています。弥生時代から稲作が始まっていたとされるこの地域では、昔、応仁の乱が起こると、米のあまりの美味しさから周辺の強国が侵入し、実ったばかりの稲穂を刈り取られることがあったそう。（諸説あり）



## 遊子水荷浦の 段畑



「耕して天に至る」と形容される段畑。ばれいしょ（じゃがいも）が栽培され、春に収穫されます。毎年4月には段畑下の会場で「ふる里だんだん祭り」というイベントが開催されています。高さ1メートルほどの石垣がはるか山頂まで続いているその光景には、急な山の斜面を切り拓いた先人たちの苦労や歴史の重みを感じ、壮麗な造形美に圧倒されます。段畑の上から見る、農と漁が融合したその景色は、息をのむこと間違いなし！

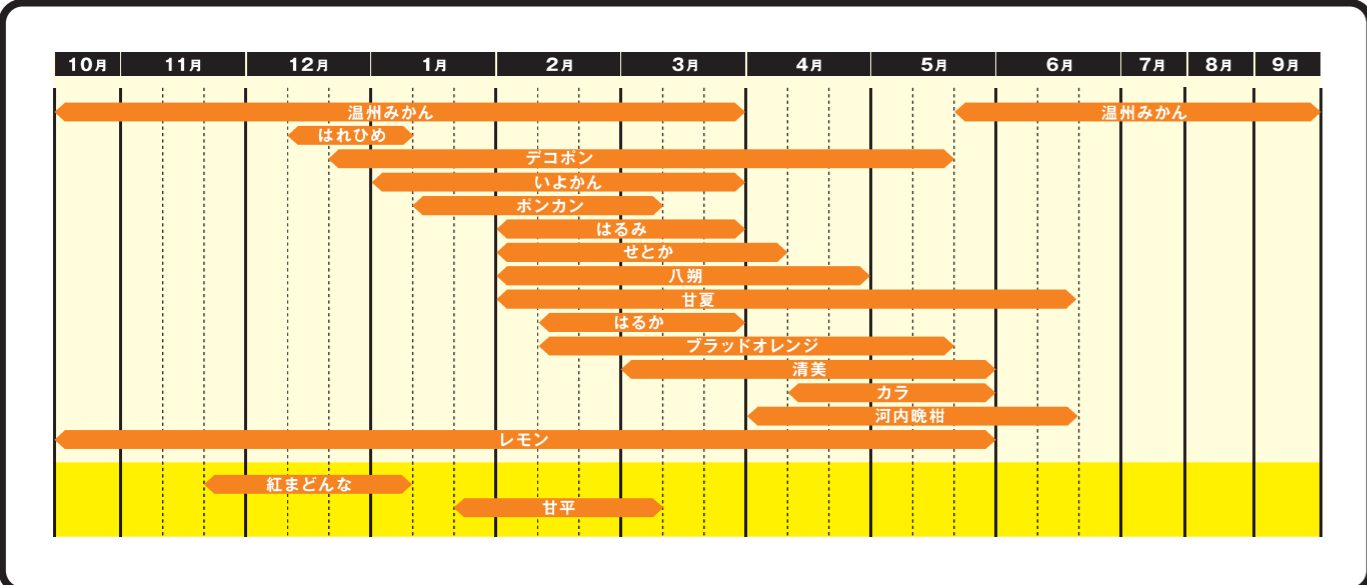
### 愛媛の主なオリジナル品種

**甘平** 西之香×ポンカン  
シャキッとしたりした独特の食感と濃厚な食味が特徴。  
平成19年8月に品種登録。  
（愛媛県育成）

**紅まどんな**  
愛媛県試第28号 南香×天草  
皮が薄く、とろけるような食感が特徴。カットフルーツに最適。平成17年3月に品種登録。（愛媛県育成）

## 食べごろカレンダー

愛媛のかんきつ21推進協議会



※出荷時期は年によって前後することがあります。

# 移住～研修開始、独立までの道のり

# Start



就農フェアに参加。  
宇和島での農業に  
興味を持つ！

宇和島市  
農林課に  
相談する！

農業アルバイト  
として農業  
を体験してみる

## Point

研修先を見つける主なパターンは3パターンあります。

- ①移住・就農フェア等を通して、宇和島に興味を持ち、市農林課に相談する場合。
- ②移住・就農フェア等を通してアルバイト体験をし、市農林課経由で紹介される場合。
- ③農業アルバイト体験の現場などで直接紹介・見つける場合。

アルバイト先の  
農家さんから  
研修に誘われる

## Point

農林課から紹介されるケースや、  
アルバイト先の農家さんとの関係  
で受入先が決まることもあります。  
ぜひ、積極的にアルバイト制度等  
を活用ください。

研修開始！  
受入農家さんと共に  
農業の基礎を学ぶ

## Point

基本的には農家さんの作業を手伝いながら、  
受入農家さんに技術を教えていただきます。  
自身で積極的に質問をしていってください！

地域の集会に  
参加させてもらう。  
地元農家さんに  
地域の歴史を  
教えてもらう

※詳細は次のページ「4」

冬になり、収穫繁忙期へ！  
自分が手のかけたみかんが  
形になっていくのは嬉しい！  
収穫したみかんは  
軽トラで共選へ！

※詳細は次のページ「5」

# Goal

ついに独立！  
一人前の農家を  
目指して頑張るぞ！

## Point

"ほんとうの"スタートです!!  
一緒に頑張っていきましょう!!

軽トラや倉庫など  
の備品を購入。  
大事にするぞー!!

※詳細は次のページ「3」

もうすぐ  
宇和島に来て2年。  
独立に向けて  
補助金申請書類  
を提出！

## Point

補助制度は毎年修正が  
かかる可能性があります。  
詳しくは宇和島市農林課に  
相談に行くようにしましょう。

受入農家さん  
に紹介された  
園地候補を見学！

※詳細は次のページ「2」



# 研修期間にやるべきことは？

## ① 資金を あつめる

新規就農者を支援する制度は存在するものの、特に初年度は、ある程度の営農資金が必要となる。

初年度経費イメージ		初年度売上イメージ	
選果機	約15万円	早生温州 20a	約60万円
軽トラック	約65万円	普通温州 30a	約84万円
種苗	約30万円	ポンカン 20a	約50万円
肥料	約30万円	伊予柑 20a	約50万円
生活費	約90万円	甘平 10a	約84万円
スプリンクラー	約50万円	ある程度収量が見込める園地を取得すると農業収入が	
<b>約280万円の想定。</b> <small>※中古で購入する場合の一例</small>		<b>約328万円の想定。</b> <small>地元農家さんよりお聞きした金額の一例です</small>	
選果機や軽トラックは譲っていただける場合もあり、あくまで初期投資として記載しております。		※新規就農者の経営を支援する補助制度もありますので詳細は農林課までお問い合わせください。	

## ② 5反以上の 農地(園地)の準備

農家として認可されるためには5反(50a)以上の園地が必要です。独立後の経営を考えると1町(約1ha)があると安心です。

### 売上の例

※地元農家さん、関係機関よりお聞きした金額の一例です。栽培・気候等が最も良い条件となった場合。

温州みかん	紅まどんな
10a...約40万円 <b>50a...約200万円</b> 経費は3~4割のため	10a...約100万円 <b>50a...約500万円</b> 経費は3~4割のため
利益 <b>約120~140万円</b>	利益 <b>約300~350万円</b>
50aって? 大人用 サッカーコート 約半面分の広さ。	紅まどんなは気象や地形により特に栽培が難しいため温州みかんや他の中晩柑類と組み合わせリスク分散が必要

## ③ 施設・資材 の準備

独立後に営農を行っていく中で、栽培、収穫、選果など各段階で使用します。

倉庫 売買 ※坪による <b>約200~1,000万円</b>	賃貸 ※月額は契約による <b>約5,000円~2万円</b>	軽トラ <b>約32~65万円</b>	選果機 <b>約10~15万円</b>
種苗 苗木(1年生) <b>約30~37万5,000円</b> 1本500~700円。 10a/120~150本 50a/600~750本	肥料 <b>約2,000~3,000円</b> (有機 1袋/20kg)	動力噴霧器 <b>約5~20万円</b> (新品)	草刈機 <b>約4万円</b> (新品)

※中古で購入する場合の一例です。※元々スプリンクラーの入っている園地では必要のない可能性あり。

## ④ 地元農家 との関係性

農業は地域との結びつきが強く、ひとりで栽培を行っていくことは困難。より持続的に農業を行っていくためにも、地域の農家の方々とコミュニケーションをとることが重要！

### Voice

コミュニティに入ること  
作業のお手伝いや  
農機具を譲ってもらったり、  
また、地元の情報などを教えて頂けるので  
生活面でも助けてもらってます！

## ⑤ 販路に ついて学ぶ

各地域の共選場(JAえひめ南)への出荷を中心にされている農家が多い。独立後すぐは纏まった収穫量がない為、個選(個人での販売)も視野に入れる必要性が園地によってはあり得る。

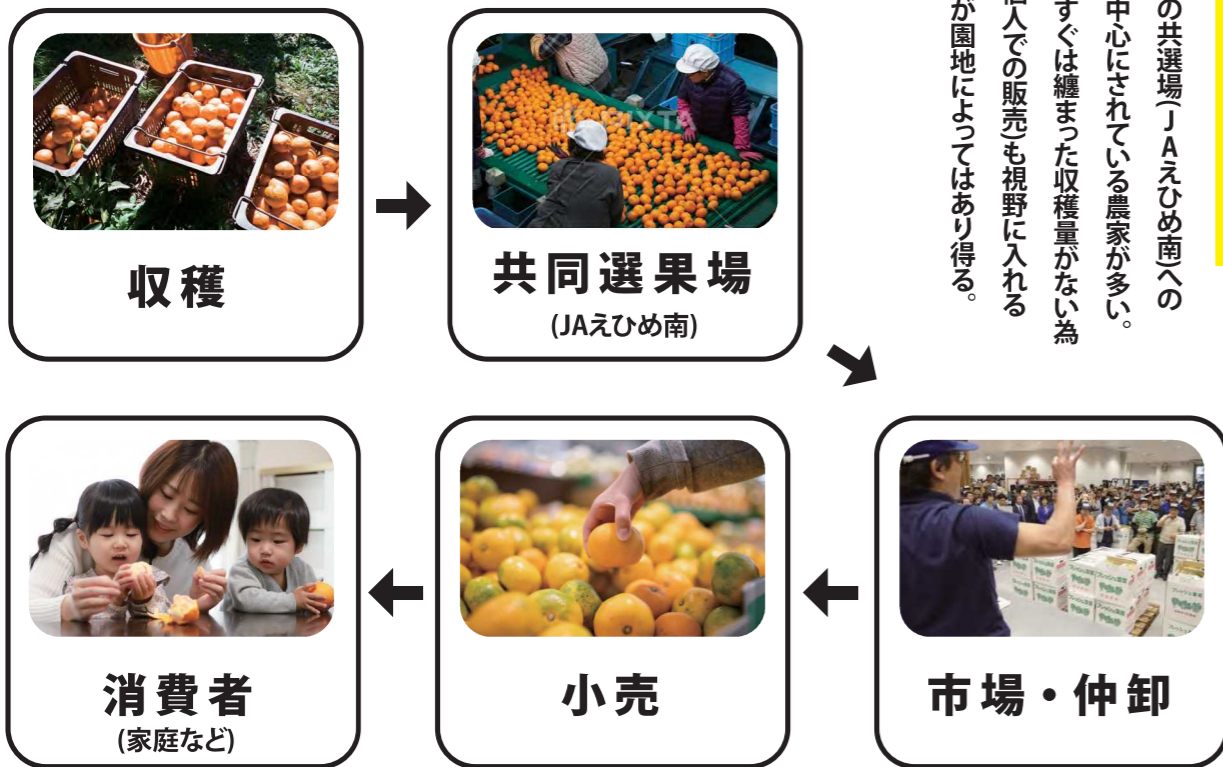
**① 果樹同志会**  
南予地域に生まれ全国に広がった、長い歴史を有する組織。若い担い手を対象に、石積み技術の研修会の開催など、技術を後世に受け継いでいく取組が進められている。

- ・JAえひめ南 青年部
- ・農業後継者協議会(上記②の下部組織)
- 宇和島地区(旧宇和島市、津島)、吉田町に分かれる

**② 宇和島市青年農業者連絡協議会**  
(次世代を担う世代)  
地域内の青年農業者を集め、地域農業の次世代のリーダー育成に取り組む。本県農業のPRや、現地視察、実地研修等を行っている。その他、定着活動として、新規就農者の農業経営スキルアップ支援も行っている。(県が事務局)

- ・各地域の部会(栽培品目ごと)
- ・なんよ農業研究会
- (2ヶ月に1回くらいの頻度)
- ・その他有志で結成されている組織

など地域ごとのコミュニティはさまざま！  
移住先や園地近くの情報を調べてみてくださいね！



### 販路の一例・共選出荷(JAへの出荷)

共選では、作物の回収~販売までを代行してもらえるとというメリットがあり、農家にとっては作業量の削減に繋がっている。また、“産地が一体となって”その魅力の発信を行うことで、個人農家では太刀打ちができないような大型スーパーや百貨店等に販売を行うことができるため、安心して自身の作業や経営に専念できるというメリットがある。

市川 大さん

研修歴：2年目（研修生）

兵庫県出身

大学卒業後、トマトの栽培と販売を行う会社で勤務しましたが、他の種類の栽培にも興味を持ち、お米や野菜の就農体験で全国各地を回っていた際に宇和島を紹介されたのが移住のきっかけです。難しさもありますが、やりがいはやっぱり収穫の時。自分で育てた作物が大きく育ち、待っていてくれる人の元へ届けられると思うととても嬉しいですね。一人前の農家となり、まずは堅実に食べていけるようになるのが直近の目標です。自分が受入農家として育成を行えるようになるのも理想です。今は技術的にも体制的にもまだまだなので自分自身を磨いていきます！



佐々木 隆史さん

研修歴：2年目（研修生）

北海道出身

東京での生活に疑問を持ち、移住フェアなどを通して宇和島へ来たのが移住のきっかけです。地域の人達は、西日本豪雨で被災し、大変な状況にもかかわらず、食事や宿泊など、温かく接してくれました。静岡、和歌山にも行ったことがありますが行った所がたまたまみかん産地だったので、もしかしたらみかんに関わる運命だったのかもしれないですね。笑 天気、自然を相手にしている点がおもしろく、とても難しい農業ですが、今後は先輩達の作るみかんから学びを得ながら、地域に貢献していきたいです。



原田 亮司さん

就農歴：約13年（受入農家）

宇和島市出身

地元玉津の同級生が楽しく農業をしている姿に感化され、就農を決意しました。2018年の西日本豪雨をきっかけに「(株)玉津柑橘倶楽部」を設立し、「利益は地域に還元」をモットーに、元々の地域の課題、災害からの復興、未来の産地の姿、など農家自らが産地・地域を盛り上げていくべく活動しています。会社として研修生を受け入れている中で、僕たち農家も成長させてもらっています。地元を共に支えていける農家になれるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

高橋 信介さん

就農歴：1年目（独立農家）

大分県出身

移住のきっかけは、宇和島の圧倒的な果実の強さ、魅力に惹かれたことです。また、息子の将来やりたいことが農業だったんです。始めてすぐに良い作物が出来るものではないと思ったので、親として将来の基盤を整えてあげたいと思いました。自分が汗水かいて育てた作物が、お客様の元へ届き、笑顔を与えられることにやりがいを感じながら日々を送っていますが、将来的には、従業員を雇えるくらい規模の拡大を行っていくことが目標です。



二宮 新治さん

就農歴：約12年（受入農家）

宇和島市出身

神戸の会社や、自分の好きだったアパレル関係の仕事を京都でする中で、24歳頃から実家に帰って農業をしたいと思い始め、2008年に宇和島へ戻ってきました。現在は農家として活動する傍ら、立ち上げた「NPO法人 柑橘ソムリエ愛媛」の活動にも力を入れ、「柑橘ソムリエ」の資格取得のイベントなどを行っています。今後は、他の柑橘産地に負けないよう、漁業も強い宇和島で皆が一体となって進んでいきたいですね。



西谷 諭さん

就農歴：3年目（独立農家）

松山市出身

後輩が「農家になる」というのを聞き自分も興味を持ち、友人の実家がある宇和島市でみかんアルバイトとして作業のお手伝いをしたことがきっかけです。やりがいだと感じているのは「未来予想図」を描けることですね。こういう経営がしたい！を想像しながら農業を行うのが楽しくて仕方ないです。難しさはもちろんありますが、この先は、ジュース商品を増やしたり、ブランド力のUP、最終的にはチームで農業を行っていききたいです。人材育成も行っていきたいなあ。



山内 直子さん

就農歴：約30年（受入農家）

宇和島市出身

高校卒業後、アパレル・花屋・添乗員として勤務しながら並行して実家の農業も行っていたのですが、結婚をきっかけに、本格的に農業を始めることになりました。将来は、「農家」ではなく、「農業者」を育てたいですね。自身の経営の法人化を視野に、まずは自分自身が、常にアンテナを張って優れたものを吸収し、手厚いサポートができる体制づくりに力を入れていきたいですね。みなさんと地域の魅力を発信できること、楽しみにしております。

玉川 峻さん

就農歴：1年目（独立農家）

福岡県出身

九州の大学時代にアルバイト仲間だった友人の家族が柑橘農家で、大学3年の頃から夏休みを利用し、みかんアルバイトとして宇和島に。そのまま研修を開始しました。現在は独立し1農家として活動していますが、色々な経験や作業が自分のやり方でできるので楽しいです。草刈りや収穫などの作業は計画を立て、それに沿って行うので、天気などに臨機応変に対応できるような柔軟性が必要ですね。将来は、農業で利益を上げて地域に貢献しつつ、福岡にいる両親を愛媛に呼びたいと考えています。

